046 室町時代 政治史⑨ 室町幕府の動揺1

貿易中断

<4代将軍 足利義持>

父嫌い。幕府政治の安定期。

元関東管領 上杉禅秀の乱。

5代将軍足利義量に先立たれる。

1428年義持死去。跡継ぎなし。

<民衆の一揆勢が室町幕府を動揺>

1428年 足利義持の弟 足利義教 が

くじ引き神判 で6代将軍に内定。

→このとき民衆が立ち上がり、

" 代始めの徳政令 " を要求して、

正長の徳政一揆 と呼ばれる。

史上初の民衆一揆(土一揆)を起こす。

◎正長の徳政一揆の結果

あ 京都では、侍所の長官(所司)の赤松満祐の活躍で、一揆は鎮圧された。

い 大和では、私徳政を発布させるのに成功した。

う 大和(奈良)の民衆は勝利宣言

…柳生の徳政碑文(奈良県)

正長元年以降、わが神戸4か郷には
借金ある可からず

え 奈良最大の荘園領主の 興福寺 は、

『大乗院日記目録』で悔しさを記す。

天地開闢以来土民蜂起これ始め也

およそ亡国の基なり

③ 赤松満祐が、侍所の長官(所司)として

京都で正長の徳政一揆を鎮圧して

いる時、赤松満祐の領国の播磨で民衆

が 播磨の土一揆 を起こす。

要求…守護・赤松氏の軍勢の排除を要求

結果…赤松満祐に鎮圧された。

室町時代の民衆パワー

南北朝の動乱を生き抜くため、民衆は
自治的・自衛的な村である惣村を形成し、
強い結束力を持つようになった。

徳政令…債務の帳消し令。

「借りたものは返して当たり前でしょ。」

→資本主義社会以外では常識ではない

幕府以外が発布する徳政令。

公的な効力あり。

石には刻む 1428

046 室町時代 政治史⑨ 室町幕府の動揺1

貿易再開

<6代将軍 足利義教>

① くじ引き神判 で新将軍に正式就任。

神に選ばれた。神意なり。

将軍権力の絶対化を目指し、

将軍直屬兵力 奉公衆 の兵力拡大。

↑再開した勘合貿易の利益で。

② 永享の乱

将軍の最大のライバルは鎌倉公方
の足利持氏を滅ぼす

→ 結城合戦 で足利持氏の子を滅ぼす。
関東平定。

③ 将軍権力強化実現。逆らう守護を滅ぼす。

④ 1441 嘉吉の変

結城合戦の勝利の宴を名目に、赤松満祐
が将軍足利義教を暗殺。同席していた管
領細川持之もまさきに逃げる。

将軍暗殺で一時的に幕府大混乱。

足利義勝が新将軍に決まったとき、民衆
が"代初めの徳政令" 発布を要求。

→ 嘉吉の徳政一揆 が京都を制圧。

侍所の長官(所司)の山名宗全は、
赤松討伐のため播磨に出撃中だった

あ 山名宗全 …播磨に居座り帰京せず
(京都に帰らないで一揆勢を放置)

い 畠山持国…裏で徳政一揆勢を支援。
管領細川持之を失脚させたため。

う 管領細川持之は、嘉吉の徳政一揆勢
に屈して 今度は徳政令を発布した。

え 将軍足利義教暗殺後の室町幕府
山名や畠山など有力大名が私利私欲
で勝手な動きを始め、応仁の乱へ。